


たが

こんにちは 
議会です!!



「お～い焼けたぞ」全国でもユニークな大滝小学校のイワナ給食

- ・ 9月定例議会 2
- ・ 各常任委員会報告 5
- ・ 一般質問 8 議員が問う 7
- ・ がんばってます 14

第119号

平成20年11月1日発行
発行 多賀町議会
編集 広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎ 0749 (48) 8126
FAX 0749 (48) 0157
有線 2 - 2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@tagatown.jp

19年度決算を
認定

町税19億9,800万円で過去最高額に

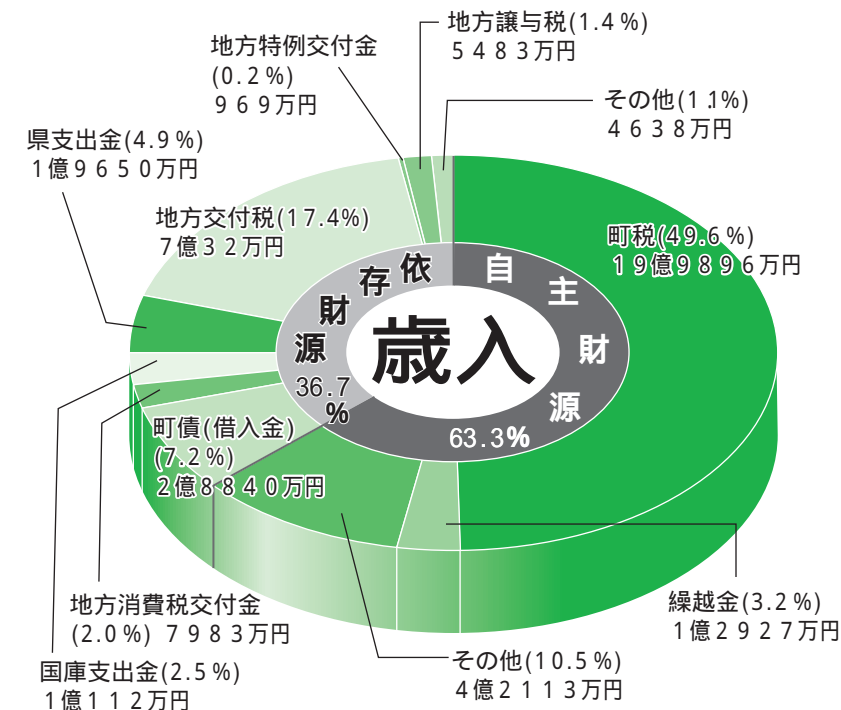
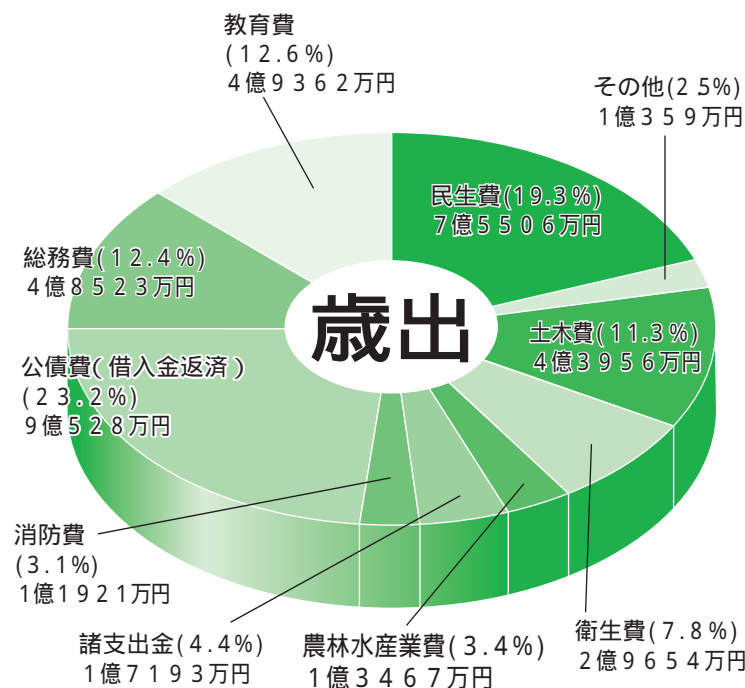
借入金 3億3000万円繰上償還

総額 9億500万円返済 実質 1億2,000万円黒字決算

出たお金 39億469万円

入ったお金 40億2,643万円

特別会計	歳出額
国民健康保険	7億2296万円
老人保健事業	8億3884万円
介護保険事業	5億8663万円
育英事業	325万円
工業団地緑地管理事業	319万円
住宅団地造成事業	313万円
多賀財産区管理費	6万円
大滝財産区管理費	41万円
霊仙財産区管理費	5万円
下水道事業	6億7362万円
農業集落排水事業	2億7449万円
水道事業	2億928万円
収益的支出	2億928万円
資本的支出	1億6843万円
合計	



9月定例会は、9月10日から24日までの日程で開催した。
同意3件、承認1件、平成20年度一般会計補正予算他11件、認定13件、議員提案1件、計29件の内、同意一件を否決そのほかは原案のとおり同意、可決、認定した。
また、財政健全化比率など2件の報告があった。

基金(積立金) 19年度末現在高	
・一般会計(合計)	11億9319万円
減債基金	3億2087万円
財政調政基金	7億3019万円
その他5基金	1億4213万円
・特別会計(6会計)	5億8236万円
総合計	17億7555万円
町債(借入金) 19年度末現在高	
・一般会計(合計)	45億9063万円
一般単独事業	16億9228万円
臨時財政対策債	12億7802万円
その他12町債	16億2033万円
・特別会計(合計)	52億9439万円
下水道事業債	40億9461万円
その他の3町債	11億9978万円
総合計額	98億8502万円

加となった。
今日地方財政は、極めて厳しい状況だが、本町では歳入の適切かつ厳正な確保と歳出の経済的かつ効果的な執行に努め、歳入歳出差引額は1億2174万円の黒字となった。

監査報告
代表監査委員 鈴木 善通
8月18、19日決算の審査を行った。結果、適正に処理されているものと認められた。
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき審査した結果、健全化判断比率、資金不足比率、それらの算定基礎となる書類についても適正と認めた。

平成19年度一般会計決算の特徴は、地方債の繰上償還を3億3911万円引前年度に引き続き財政調整基金へ1億7085万円を積立てた。
これにより、平成20年度以降公債費負担の軽減と積立金の増額が図られ今後の財政運営に明るい材料となる。
一般会計の歳入歳出予算額39億9207万円に對する、歳入決算額は40億2643万円。
歳入決算額の主なものとして、町税が19億9897万円となり歳入全体の49.6%で税の徴収率の増加となった。
義務的経費全体では22%の増加となった。維持補修費、積立金、繰上償還、補助費等および普通建設事業費の補助事業が減少したが、歳出全体では前年度に比べ0.6%の増

決算特別委員会報告
9月11日・12日の両日、当委員会に付託された19年度一般会計決算の審議を行い、賛成多数で原案のとおり認定した。
「希望と安全・安心」のための
施策を重点に!

平成20年度 一般会計補正予算

庁舎照明器具の改修 あけぼのパーク公園改修

〔教育振興基金〕小中学校防犯カメラ
敏満寺公民館改修

付託を受けた税務課、総務課、環境生活課、福祉保健課、教育委員会所管事項を審議、可決、認定した。

総務

9月16日平成20年度一般会計補正予算、特別会計補正予算および平成19年度特別会計3件の決算を審議した。

委員会の審議報告

総務課所管

庁舎内の照明器具が劣化したことで漏電事故を起こすこともあり改修する。

教育委員会所管

あけぼのパークの公園の木製遊具が10年経過しており、老朽化している。多世代が利用しやすい施設に整備する。

教育振興基金

多賀小学校、大滝小学校、多賀中学校に防犯カメラを設置する。

中学校体育館の演壇、ピアノを購入する。

公民館活動活性化事業として敏満寺区に補助金を出す。

20年度補正予算

一般会計

2億4456万円追加
主な支出
庁舎照明器具改修工事
あけぼのパーク遊具改修工事
2800万円
鳥獣害防止対策費
858万円
小中学校防犯カメラ
450万円
公民館活動活性化事業特別補助金
1000万円
借入金繰上返済
1億6172万円
国民健康保険特別会計
2876万円追加
老人保健事業特別会計
629万円追加
介護保険事業特別会計
441万円追加

専決

一般会計

1174万円追加
多賀小学校耐震補強改修工事
403万円追加

条例

多賀町まちづくり応援寄附条例
多賀町のまちづくりの取組みを応援しようとする個人団体から寄附金を募り、これを財源として各種事業を実施することにより、個性豊かな活力ある地域づくりに資するもの。

多賀町税条例一部改正
個人住民税の寄附金控除の拡充、上場株式配当および譲渡所得に対する税率の見直し、公的年金からの住民税の徴収制度が創設されたことに伴う条例が整備された。

税務課所管

ふるさとへの寄附金5000円超控除対象10万円を超える寄附をして初めて寄附金控除が受けられたが、今回の改正で適用下限額が5000円になり寄附金控除が受けやすくなった。

手続きは、寄附をしたと思う自治体に申し出をする。寄附金の受理を証する書類を確定申告時に添付、寄附金控除を受ける。

年金から引かれる住民税

高齢者の納税の手間を省くことを目的に65歳以上の人の年齢基礎年金などから年金所得にかかる住民税を天引する。(21年10月から)
ただし年金給付額が年額18万円未満の場合は対象にならない。

第68回 全国町村議会 広報研修会に参加

8月10日・11日の両日東京のシェーンバツハ砂防会館で、第68回議会広報研修会が行われ、広報発行委員会の3名の委員が参加した。
1日目は講師による、文章の作成のしかた・写真のとりかた・インターネットの活用の方法等今後の編集に参考になった。
2日目は各町村で発行されている議会広報誌を使って、具体的、技術的に指摘を受けるクリニツクがあり、当議会発行の115号もクリニツクを受けた。
「編集姿勢も明確で、町民に分かりやすく、構成の仕方原則的で質の高い広報誌である」との評価であったが、今後もっと議会内容を的確にお伝えできるよう、委員全員で頑張ります。
「ご意見等お寄せ下さい。」



全国広報研修会で真剣に受講中

閉会中の委員会報告

7月23日福祉保健課所管について報告を受け、福祉施設等の視察をした。

保育園、幼稚園の平均入園率は約61%である。「多賀ささゆり保育園」では、朝7時30分より午後7時まで155名を預かっている。「たきのみや保育園」は午前7時45分より午後6時まで33名を預かっている。
各保育園で保育目標、保育テーマをもって運営されている。
問 園児数に対して保育士は足りているか。
答 国の基準どおり配置している。
問 幼稚園、保育園の幼保一元化の保育行政は。
答 少子化などの問題もあり近い将来考える必要があると思う。



清涼ファミリーステーションに集う子どもたち

産業建設

9月17日平成20年度一般会計補正予算および平成19年度特別会計水道事業会計4件の決算を審議した。

企画課所管

住宅団地造成事業特別会計は芹谷ダム関連で移転先住宅団地の造成事業債である。元金返済は据置期間中でありしていない。借入利息の313万円余りは支払をしている。

公営企業課所管

多賀町下水道事業特別会計
 歳入 7億7742万円
 歳出 6億7362万円
 差引 1億3080万円
 利用世帯は約16000世帯で水消化率は約84%

閉会中の委員会報告

7月24日農林商工課所管について報告を受け、林道「時山、多賀線」の現地視察をした。あわせて獣害被害の視察をした。

森林環境学習「やまのこ」事業

間伐材製品利用促進事業 各保育園、幼稚園にアルミ缶の保管庫、ベンチ遊具など製品化利用する。

特別措置法による獣害対策協議会の設置は。

協議会は6月14日に開催した。1次募集では不採択になったが2次募集で採択される模様。

里山と集落の間に緩衝帯を設ける。また恒久電

気柵の整備予定。

森林税事業の取り組み状況について
 (内容)
 長寿の森奨励事業
 里山リニューアル事業

獣害対策協議会の設置

本年は栗栖・八重練・大岡で
 来年以降は敏満寺・富之尾・藤瀬で

付託を受けた企画課、農林商工課、建設課、公営企業課所管事項を審議、可決、認定した。

農林商工課所管

特別措置法における、鳥獣害防止総合事業について、多賀町も獣害対策協議会を設置。「栗栖、八重練、大岡地区でおこなう低木の伐採、松枯れの除伐、竹の除伐などで緩衝帯を作り獣害の防止を図る。

来年度は敏満寺、富之尾、藤瀬で実施したい。地元の合意形成が図れないとできない。

観測地点は6力所で行っている。

建設課所管

町道小森池線の国道306号線取付け部分の工事契約は随意契約である。随意契約が有利と判断する場合は、今後も採用することがある。

多賀町水道事業会計
 歳入 3億2239万円
 歳出 3億7771万円
 差引 5532万円

不足額は利益剰余金で補填する。
 水道の有収率が約76%で低いが老朽管路が多く整備が必要である。



開通した林道、時山・多賀線(五僧峠)

町政のここが
 ききたい

一般質問

大橋議員

町道久徳・中川線の改修工事については、平成9年に事業採択を受けたが、諸事情により実施されていない。

当時よりも交通状況は変化し、通勤車輛の増大、通学利用者も多い、国道306号付近の渋滞も生じている。

沿線住民の道路整備への期待度も大きく早期の改修工事が必要である。

町長

当該町道は、幹線道路網整備の一環と位置づけ、整備必要路線と考えている。

事業費は、約7億3000万円必要であり、長期的な財政計画のもとで実施を計画し地元関係者の理解を得て進めたい。



中央公民館前306号交差点

河川堤防の除草作業は

町費による実施は困難

建設課長

大橋議員
 河川が地域住民の共有財産であるという認識のもとに、各集落では堤防や法面の美化活動に区民あげて奉仕作業をしている。

しかし高齢化等により

十分な活動でできなくなっており、町として簡易舗装等が考えられないか。

改善すべきである。

建設課長

地域住民のご協力により良好な河川環境の保全がされており、集落で実施の時は少額ではあるが県の補助金が出ている。

河川管理は県の所轄であり、簡易舗装等町費計上は困難である。

芹川左岸土田地先の交通に支障となる樹木の伐採は、県や地権者に要望して対処していく。

大橋議員

平成23年7月に、地上デジタル放送に移行しアナログ放送がみられなくなる。

町内には地形の関係でテレビ難視聴地域がありこれらの対応と共に、生活保護世帯に対し受信機の無料給付、施設改修費の補助金等の具体的対応を考えているか。

企画課長

町内には23力所の共聴施設があるが、13力所はNHKの施設であり順次改修が進められている。

その他の施設については、条件的ではあるが国の補助制度がある。

生活保護世帯も含めて今後、国や県、NHK等の情報を住民に提供して対処していく。

町道久徳・中川原線
 道路拡幅改修工事实施は
 財政計画のもと実施をする

一町長一

大橋 富造 議員



デジタル放送への
 対応は
 国、NHKの
 対策をPR

一企画課長一



北川 久二 議員

多賀町の防災の取り組みは 実施に向け検討する

—町長—

北川議員
多賀町は防災に対して
どういう取り組みをして
いるのか。

防災訓練、災害時の資
機材等の備蓄、橋梁崩壊
等による孤立集落を出さ
ないよう橋梁の耐震補強
工事ができているのか。
災害時における緊急連
絡方法で、携帯電話が一
番有効と思われる、通じ
ない集落の対応はどうか。

町長

消防署と連携をし、毎
年定期的に避難訓練を行
い、大地震等を想定した
総合訓練も必要で、消防
団や企業の協力のもとに
実施に向け検討を考えて
いる。

携帯電話が通話不能な
地域は、防災行政無線の
整備を考えている。

建設課長

橋梁の点検を実施し、
補強工事の内容を検討し
構造の強化を図っている。

特定健診の実施状況は 受診しやすいよう配慮

—福祉保健課長—

北川議員

国保加入者を対象に今
年4月より国保特定健康
診査がスタートした。
受診の割合はどうか、
受診率の向上の対策は、
受診時における個人情報
の保護の問題等今後どう
対応するのか。

福祉保健課長

本年度は達成している
が、今年もできるだけ受
診しやすいように会場を
多くし、さらに土曜日、
日曜日にも健診日を設け
ている。
健診機材や間仕切りの
配慮、健診の順序など工
夫を行っていきたい。

職員の人事管理は 適正な人員配置である

—町長—

北川議員

行政改革を推進し、職
員の削減を図られてきた
が行政事務、住民サービ
スに影響がないのか。
多賀保育園では全職員
の内臨時職員の割合が44
%と高い比率である。
適正な人事管理だと判
断しているのか。

町長

勤務体制の均衡を図り
研究会や研修会、職員会
議などで研鑽している。
保護者との信頼関係を
築き保育にあたっている。
保育士を適正に配置し、
保護者にも安心してもら
える保育サービスに努め
る。

小・中学校の実態は 全教職員で指導している

—教育長—

藤本議員

小・中学校における教
育問題が急に浮上してき
た、各学校はどのような状
況なのか。

各教室において十分に
勉強できる状態なのか。
特別支援要員2名の補
充で十分なのか。

町長は県下一の教育の
町を目指すと言っている
が今後どのような対策をと
ろうとしているのか。

教育長

平成14年ころより年々
特別支援を要する児童生
徒が全県的に急増してお
り多賀町も例外ではない。
今まで想像していなか
った保護者のもとで生活
している子供たちの対応
を今後どうするか地域ぐ
るみで考えたい。
本町は全教職員が一致
協力して指導をしており、
学習・スポーツに励んで
いる。



子どもたちが集中している授業でした

今後の多賀町交通対策は 地域交通推進検討委員会で検討中

—町長—

小林 元嗣 議員



小林議員
多賀町は集落が点在し
ており、交通手段はバス、
車以外にない。
高齢者や弱者の人のた
めに各集落をつなぐ交通
システムを作ることが、
多賀町の活性化のために
必要である。
今後の交通対策を聞く。

町長

昨年11月に高齢者に対
し外出に関するアンケー
トを実施し交通手段の意
向やニーズなどを調査し
た。
本年度より各地域、商
工会、学識経験者など10
名の人で地域交通推進検
討委員会を立ち上げ、今
日まで4回の委員会を開
催した。
行政では交通手段を所
管している関係4課と福
祉協議会で地域交通対策
検討会議を開催してきた。
今後機会をみて報告
する予定である。

芹谷ダム 今後の対策は 再建に向けて全力を投じる

—町長—

藤本 一夫 議員



水没予定地区の水谷集落

藤本議員
嘉田知事は今年の10月
末日までには態度はハツ
キリするとの一点張りだ
がある。水谷地区民は不安
を抱く状態である。
我々はあくまでダム完
成が最終目的である。
町当局は今後の対策を
どのように考えているのか。

町長

知事が10月にどのよう
な判断をするのか、芹谷
に存在する14集落の再生、
再建のため道路整備をは
じめとする地域整備を県
に対し信念を持って要請
し、県とともに芹谷地区
の再建に全力を投じる。

鳥獣害対策に補助を 単独実施でも交付したい

—農林商工課長—

小林議員

今までは地域ぐるみや
集団での取り組みは補助
金が出ているが、個人の
電柵等には出していない。
収穫直前の被害は労働
意欲も失われ、田畑は荒
れ放題になりますます過
疎化が進む。
町独自の補助金制度は、

農林商工課長

補助金は滋賀県市町振
興総合補助金の交付要綱
に基づいて実施している。
耐用年数5年以上、受
益戸数2戸以上、かつ50
アール以上が対象である。
この事業を基本とした
上で町独自で補助金を出
す場合もある。

ダム水没地区の対策は 集会所で毎週相談業務を実施

—町長—

小林議員

水谷集落の皆さんは長
年のダム問題で大変苦勞
されている。
県は当然責任を果たす
べきだが町としても一刻
も早く皆さんの不安を取
り除き、安心な家庭を築
く手助けをする責務があ
ると思つ。今後の対策は、

町長

芹谷地区のダム対策委
員会、水没地区の水没委
員会等の会議に出席し、
芹谷地区の福祉サロンの
参加等直接区民の皆さん
の声を聞いている。
水谷地区の人には毎週
生活相談業務を開催し不
安の解消に努めている。

国道306号線の道路改良を 間もなく施工予定

—建設課長—

山口 久男 議員

山口議員
国道306号線霜ヶ原バス停から桜峠、梨ノ木間で、スリップ事故が多発している。以前から道路改良の要望が出されているが、未着工だが、改良の見通しは。

建設課長
早急に改良工事を実施することは困難であるが交通安全対策の取り組みとして、標識の設置や、スピード抑制のための段差舗装を実施すると、湖東振興局より回答を得ており、まもなく施工する予定である。

獣害対策はどうするのか 来年度は、大滝地区を 中心に考える

—町長—

富永 勉 議員



富永議員
猿・鹿・猪等の被害が深刻さを増し、生産者の意欲を低下させている。そのことは町も認識しているはずである。町は15名の「多賀町獣害対策協議会」を設立委嘱した。協議会設立の遅れを、年度末で各字役員の交代を理由にしたのは、単なる言いわけにしか取れない。

協議会委員の選考基準を、芹川沿岸地区に限ったのはなぜか。大滝地区の被害状況を把握した上での人選か。町長の考えを問う。



工事が進む小森池線

小森池線、 今後の計画は 引き続き工事 実施する

—町長—

町長
多賀町全域で農業林業被害があるが、芹川沿いの事業化を念頭に置いた。任期は1年である。来年度は、敏満寺、楢崎、富之尾、藤瀬などを集中して、委員構成する。

富永議員
町道小森池線は、起債事業である地方特定道路整備事業の採択を受けた。平成10年から平成25年の完了を目指し着々と工事が進んでいる。この町道の完成を、地元住民は待ちわびている。今後の、町道小森池線の工事をどの様に進めるのか町長に問う。

町長
小森池川から国道306号線間の改良工事は、来年度以降引き続き、計画的に工事を実施していく。

食育推進の取り組みは 全職員が食の大切さを認識

—教育長—

山口 久男 議員



食の大切さを聞いている、多賀ささゆり保育園児たち

山口議員
子どもの食育は、心身の成長および人格の形成に大きな影響をおよぼすとされている。

学校給食における地域の割合を30%にするなど目標値を設定している。学校などでの食育推進の取り組みは。

教育長
食に関する指導全体計画を作成し、これに基づき実践を進めている。指導体制の整備や地域の特徴を生かした学校給食の実施や、さまざまな体験活動を通して、食に関する理解を促進する。

**学校給食の答申はいつか
今後は保護者、町民の意見を尊重**

山口議員
学校給食法や食育基本法について法的な理解と意義についての町長の見解は。

中学校給食アンケートについて、なぜ小学校4年生以下の保護者を対象から外したのか、なぜ検討委員会の審議の公開をされないのか、アンケートの具体的な結果はどうであったのか。その後の検討結果の内容は、答申はいつ出すのか。

町長
今後は、保護者、町民の意見を尊重した検討委員会の答申を待ち、総合的に判断していきたい。

教育次長
検討委員会で十分協議をした結果、当初中学校を対象に実施予定であったが、中学校へ進学する小学校5年生まで幅を広げた。

多賀町情報公開条例により町民に誤解や憶測を与え、不当に混乱をおよぼすおそれがあると判断した。

児童生徒は弁当、保護者は給食を望んでいる結果になった。

検討委員会を後2、3回開催し、教育委員会へ答申を受け、その後町長に答申する予定。

町民の意向が反映した介護保険の見直しを 国の方針を見極め協議していく

—福祉保健課長—

山口議員
来年4月から3年間の第4期事業計画策定作業がおこなわれている。見直しにあたっては介護を支える人たちの労働条件の改善が必要で介護報酬の引き上げが必要。19年度末基金は5500万円あり保険料の抑制が可能だ。町独自の減免制度は、町民の意向を反映した見直しを。

福祉保健課長
国の動向を見極めながら、介護報酬から反映する介護給付費の見込みを算定し、保険給付の円滑な実施を確保する。運営は今後国の方針を見極め協議していきたい。市町村によっては保険料および利用者負担の減免など、独自の政策を実施している所もある。さきの税制改正に伴う激変緩和措置をいかに、負担の軽減を図っていく。

議会を傍聴して下さい
12月の一般質問は
9日予定です。

洪水ハザードマップの作成は 来年3月には配布予定

—建設課長—

川添 武史 議員



町長
今日まで通学路を重点的に整備し安心安全な町づくりをしてきた。今後は人的災害を含めた危機的管理体制の整備が重要な施策となってくると考えている。
町民各位への伝達方法は、将来的には防災行政無線の整備を検討したい。

建設課長
国・県・町各1/3で作成される。来年3月には配布予定をしている。
川添議員
近隣町村は通学路に「緊急押ボタン」装置の設置、また防災無線の整備をしているが多賀町の対応は、

川添議員
ゲリラ豪雨のため各地で被害が出ている。
洪水ハザードマップは国県の補助金と多額の費用で作成されるが、配布はいつ頃になるか。

町長
高年齢の人が納税に行きにくく、利便性が図れる。町としても窓口対応等事務の効率化を図るため理解を願いたい。

町長
これからの寄附金を受け入れるもので、先に町民からいただいた3000万円も対象になるものがある。

川添議員
ふるさと納税制度（寄附金制度）が始まった。多賀町への影響は、全国の市町村では、ふるさと納税を呼び込もうと、さまざまな工夫をしている。
多賀町はどのようにPRするのか。

住民税が年金から天引きされる 納税の利便性が図れる

— 町長 —

川添議員

ふるさと納税制度（寄附金制度）が始まった。多賀町への影響は、

全国の市町村では、ふるさと納税を呼び込もうと、さまざまな工夫をしている。
多賀町はどのようにPRするのか。

町長
これからの寄附金を受け入れるもので、先に町民からいただいた3000万円も対象になるものがある。

町長
使い道はまちづくり施策の考え方をインターネットでPRしたいと考えている。

福祉保健課長

彦根市立病院までの直通バスの運行は、他の医療機関への通院もあり、

市立病院に直通バスを 交通推進検討委員会で検討

—福祉保健課長—

川添議員

車の乗れない人、高齢者の人が、地区の中核病院である彦根市立病院への通院に非常に困っている。往きは二、三回の乗り継ぎがある。帰りは南彦根より乗り継ぎがなく、一時間待っている。福祉バス、学童バスは使えないのか。

農林商工課長
ふるさと地域力発掘支援モデル事業に公募するべく多賀そば地域協議会を設立した。
採択通知が届いており5年間において商品化、ブランド化を進め、協議会事務局は商工会に置く。

川添議員
多賀そばの今後の取り組みは、

個別目的地の運行は難しい。
利便性があり効率の良い交通システムがないか本町の交通推進検討委員会で検討していく。

多賀小学校・多賀中学校の 指導内容は 家庭や地域との連携を図る

—教育長—

土田 一善 議員



教育長
字別児童会や字別懇談会を年4回開催、登下校の見直しや問題点について協議検討している。
家庭や地域との連携も図りながら、食育を通して自ら健康管理できる自己管理能力の育成ができるよう指導をしている。
各学校の学校目標に従い、校長のリーダーシップのもと、全職員一丸となり、学習に励んでいる。
学級編成および教職員定数の標準に関する法律に従って、定数を確保している。

土田議員
中小企業基盤整備機構との交渉結果を聞きたい。
地方交付税や補助金が減額見直しが行われている現状と、長引く景気の低迷や、今後必要となるより高水準な行政サービスの財源確保を考えると財政状況は、より厳しくなることが予想される。
今後の当町の運営に必要な財源の確保を図る上で、工業団地の有効利用は急務であると思うが、町長の考えを聞きたい。



三和シャッター工業㈱の立地が待たれる約12haの用地

三和シャッターへの立地交渉の現状は 一日も早い工場建設を要望

—町長—

土田議員

町長
平成9年3月に売買契約をされ、買い戻し特約期限前に売り主である独立行政法人中小企業基盤整備機構に建設完了期限延期承認願を出され、機構が建設工事の期限延期を承認しており、基盤整備機構が三和シャッターに対して、改めて工場建設の督促を行うことは無理と考え、町も直接関与することができないが、早期着手されるよう強く要望する。

入札のあり方について 競争入札が基本

—町長—

特に高額な随意契約はさけるべきと考えるがどうか。
指名競争入札より一般競争入札による、業者の自主参加の方がよりわかりやすいと思うがどうか。

土田議員

議会が議決すべき金額は5000万円以上となっているが、契約の透明性を高めるためにも、町独自で1000万円以上を報告する考えはないか。
また随意契約は不信を招きやすく、公平性を確保するため適正に行うべきである。

町長
入札および契約の過程ならびに契約内容に関する事項の公表要綱の定めるところにより、その都度掲示し周知している。
競争入札を基本として執行しているが、有利な価格で執行できると判断した工事は、随意契約での対応としている。
建設工事契約審査会を設け、信頼できる業者選定などの審査を行うことにより、良質な工事施行などのメリットを考慮し、指名競争入札を採用している。

一般競争入札に、規模や区域などの制限を示すなどして導入も検討している。



そばの花ざかり（大字土田）

高齢でも

がんばってます!

元気なお年寄りを訪問しました。

この歳までよく生かさせてもらったものだと思います。
 長生きできたのは、物事を良い方に考えること、毎日をお陰げさま、感謝の心で過ごさせてもらっているからだと思えます。
 ちかごろは、お部屋でちぎり絵を作って楽しんでます。
 時代劇小説を読むのも楽しみです。
 若い時から編物や裁縫をしてきたことが、ボケ防止になったのかなと思っています。



自作のちぎり絵の前で

平木 みをさん
 敏満寺 104歳



随想を練っています

山口 金作さん 96歳
 敏満寺
 高等小学を中退して呉服店の丁稚奉公をするため朝鮮に渡ったのは、15歳の時でした。
 人に負けたくない思いで仕事を頑張りました。
 お陰で番頭になるのも早く、結婚も30歳の決まりより1年早くしました。
 2度目の兵役中に終戦を迎え1人で帰国しましたが、妻と子供2人が帰国するのは難渋を極めました。
 現在は盆栽いじりや随筆を書いて悠々自適にすごしています。



親鸞聖人像前で

那須 愛子さん 98歳
 佐目

生まれは山口県です。生家もお寺で、ご本山の関係者の紹介で主人の行英さんと結婚しました。
 結婚後は、西宮で住んでいましたが、終戦まぎわに佐目に帰って来ました。

婦人会活動や、民生委員として、人様のためにお役に立つ仕事をさせていだいたことを誇りに思っています。
 毎朝佛様に大きな声でお経を上げています。
 佛法で生かされているのを感じる毎日です。



2人なかよくオシドリ夫婦

岸本 喜蔵さん 96歳
 萱原 みつさん 93歳
 嫁のみつと結婚したのは24才、みつは21才の歳やった。
 2人で山仕事に精を出したもんやった。
 炭焼もしてたんやが、これがよく売れたんや。兵隊にもとられてシベリア抑留も体験したんやが、早く帰れてよかった。
 大滝山林組合の仕事もさしてもらったりで、80才位まで仕事はしてた。
 山仕事をしてたから身体が頑丈なんやと思う。
 おしどりの里のおしどり夫婦でがんばるわ。

編集後記

9月定例議会も無事終わり、10月2日(4日)と鹿児島県日置市(旧伊集院町他3町合併)に、総務、産建、両委員会の合同視察研修に全議員が参加し、いろいろと見聞を広めることができました。その結果は次号に詳しく掲載致します。

私が初めて訪れて、先ず日置市の印象を少し述べさせてもらいますと、住民の方々の暖かい心使い、礼儀正しい事に驚きました。

さすが文武両道の町だと関心いたしました。

近年忘れかけていた日本人の心が、南国日置市では、今なお立派に残っていたのには、少し安心しました。有意義な研修ができました。

藤本一夫記